

Joint Education Program (JEP) 実績報告書「短期海外留学 (チュラーロンコーン大学)」  
Report of JEP “Short Visit Program (Chulalongkorn University)”

所属／世界言語社会教育センター

名前／Sunisa WITTAYAPANYANON

- |   |
|---|
| ・ 授業題目名／Course Title：短期海外留学 (チュラーロンコーン大学 CU)      |
| ・ 授業形態／Lecture Type (online, hybrid, etc.)：対面学習   |
| ・ 開催場所／Place (name of country)：タイ国バンコク            |
| ・ 期間／Period：2024/2/5～16                           |
| ・ 参加者数／Number of Participants：15名 (TUFS タイ語専攻1年生) |

1. 授業の概要／Overview of the course

【目的】 タイ語能力の向上、タイ国・タイ文化への理解促進、タイ人大学生との交流促進

【プログラム内容】

- ・ タンデム学習
- ・ タイ語に関する授業
- ・ タイ文化に関する授業
- ・ バンコク近郊での文化体験

2. 実施報告 (日程、実施内容、開催時の写真)／Activity report (schedule, content, photos)

※写真はできる限り付けてください。 If possible, please give us many photos.

	09:30-12:00	13:00-16:00
2/5 (月)	オリエンテーション・キャンパス案内	タイ国紹介・タイ文化入門
2/6 (火)	タンデム学習①：日・タイの人生儀礼について考える	タイ語講座①：公式、非公式の自己紹介&合掌 【リスニングのテスト1】
2/7 (水)	タイ語講座②：料理の注文 (関連会話を読み、単語と表現を学習)【課題1&音読テスト1】	タイの歴史講義
2/8 (木)	タンデム学習②：タイの「市場」を歩く (ミニ調査)	タイ語講座③：買い物 (関連会話を読み、単語&表現を学習。短編アニメを見て、文化について話す) 【課題2&リスニングテスト2】
2/9 (金)	タイの文学	タイ語講座④：タイ人の暮らし (関連会話を読み、単語と表現を学習/タビアン魚の竹網とタイのお菓子試食)【音読テスト2】

2/10(土)	研修旅行@ホアヒン	
2/11(日)		
2/12(月)	タイ語講座⑤：タイ社会の宗教観（関連会話文を読み、単語と表現を学習）	タイ語講座⑥：タイの歌（歌を聞いて歌う練習）【課題3 & リスニングテスト 3】
2/13(火)	タンデム学習③：日・タイの怪談の比較	タイ語講座⑦：映画（関連会話を読み、単語や表現を学習、短編の映画を見て、感想文を書く） 【ライティングテスト】
2/14(水)	研修旅行@アユタヤ	
2/15(木)	タイ料理の調理実習	タイ語講座⑧：復習 【総合テスト】
2/16(金)	タンデム学習②：ミニ調査発表準備/練習	タンデム学習②：ミニ調査発表+修了式

### 2/6(火)タンデム学習①：日・タイの人生儀礼、通過儀礼について考える

- TUFSS-CU の混合グループを5グループ作り、各グループで異なるテーマに関する共通点/相違点を話し合った後、最後にお互いのことを他己紹介する形で発表。

【テーマ】 グループ1：誕生に関する通過儀礼、子どもに関する通過儀礼

グループ2：一人前、成人儀礼

グループ3：結婚に関する通過儀礼

グループ4：死に関する通過儀礼

グループ5：環境が変わったときの通過儀礼



- 日：ヴィチットマワン → 頭：シンハー、肌色：赤
- 月：ワンノンクラン → 頭：馬、肌色：白っぽい
- 火：ヤックサボリスット → 頭：水牛、肌色：ピンク
- 水：サーモンタッス → 頭：象、肌色：緑
- 木：ガロテュック → 頭：鹿、肌色：薄い黄色
- 金：ヤックノンヤオ → 頭：牛、肌色：薄い水色
- 土：エーガーライ → 頭：虎、肌色：黒

発表事例) 誕生に関する通過儀礼

共通点：病気のせいにする

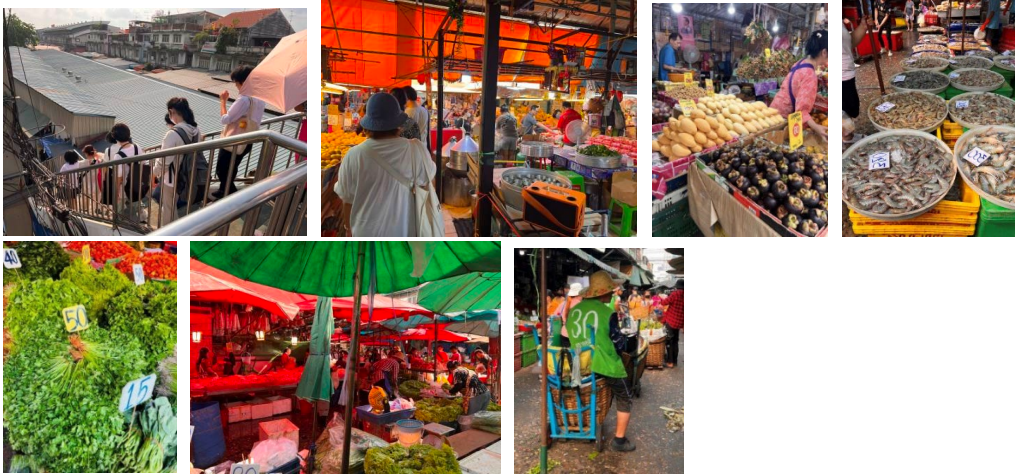
相違点：タイ：お坊さんを家に招く、日本：神社へ行く

タイ：民族の違い（華僑、タイ族、モン族）、日本：地域の差

### 2/8(水)+2/16(金)タンデム学習②：タイの「市場」を歩く（ミニ調査）

- タイ人学生と市場を歩き、自らの足で情報を収集し、タイと日本の市場について意見交換を実施。
- 市場内を視察する際、日本の市場との比較を念頭に置きつつ、以下の点に着目。  
売られているもの（スーパーとの比較）、商品の値段、市場の歴史・由来、全体の施設構成・区画の配置、開催日と時間帯、立地条件、商品の仕入先（国内 or 海外）、客層、買い物客の居住地、買い物頻度、店主の信仰、商売繁盛のおまじない 等々

【市場調査の様子：2/8】



傘の色の意味、売られているモノの違い、日本との売り方の違い、市場の歴史、スラム街との関係など、日本人学生だけでなく、タイ人学生にとって新たな気付きがある調査となった。

【発表準備：2/16】

各人の市場での気付きをテーマとしたプレゼン資料（含原稿）を TUFSS の学生と CU の学生がペアになり協力しながら日本語/タイ語で作成。



【発表：2/16】

各人の発表の後、全体で意見交換。



2/13(火)タンデム学習③：日・タイの個人の信仰/怪談の比較

- TUFSS-CU の混合グループを 5 グループ作り、各グループのテーマについて共通点・相違点について話し合った後、それぞれ聞いた内容を他己紹介する形で発表。

- 【テーマ】 グループ1：我が家の信じること/もの、化け物 等  
 グループ2：わが町の神様/伝説  
 グループ3：自分のおまじない  
 グループ4：学校・大学の七不思議や怪談  
 グループ5：学生ならではのご利益のある社寺、パワースポット



各グループでも活発な意見交換が行われていた。

例) 日タイとも幽霊の存在を信じている

日本では幽霊を恐怖の対象として見る傾向

形があるものを怖がるか否か・・・日本では形がなくてもその存在を信じて怖がる

日本では怪談というと学校や病院という場所が連想されがち 等々

### タイ語講座（全8回）

専任の担当講師がつき、全8回を通じて学習を指導。会話、聴解、読み書きと網羅的な内容としており、食事、買い物、宗教などテーマも多様であった。ミニテストや修了テストもプログラムに組み込まれていた。

### タイ文化体験・研修旅行

画像や映像だけでなく、実際に現物に接する機会や実体験（料理実習、伝統舞踊、寺院訪問など）が多く含まれ、タイならではの多様な体験が実現可能となった。





2/10(土)~2/11(金)研修旅行@ホアヒン



2/14(水)研修旅行@アユタヤ



3. 授業のレビュー（成果や課題、今後の展望など） / Review of the course (such as achievements, challenges and prospect for the next term/year)

プログラム実施後、TUFS を対象に実施した各プログラムへの満足度に関するアンケート結果は以下の通り。(回答数=15)

注) T1~3: タンデム学習	不満 ←————→ 満足				
	1	2	3	4	5
タイ国紹介・タイ文化入門			13%	20%	67%
【T1】 日・タイの人生儀礼について考える			13%	40%	47%
【T2】 タイの「市場」を歩く (ミニ調査)		7%	13%	33%	47%
【T3】 日・タイの怪談の比較			20%	40%	40%
タイ語講座 (全8回)				27%	73%
タイの歴史講義	7%	7%	47%	20%	20%
タイの文学	7%		20%	40%	33%
タイ料理の調理実習			20%	27%	53%
研修旅行(ホアヒン)				13%	87%
研修旅行(アユタヤ)			27%	20%	53%
今回の経験を通して、あなたのタイ語/タイ研究に関する学習意欲やタイへの興味・関心は高まりましたか?				13%	87%

タンデム学習

同世代とのタイ人大学生との交流を通して、タイ語・タイ文化を楽しく自発的に学習しており、タンデム学習としての基本的な目的は達成していたものと捉えている。一方で、CU から事前情報としては「日本文化の発表をする授業がある」のみであり、「予め具体的な進め方が分かれば、もっと準備が出来た」という声も学生から多く聞かれた。また、TUFS の学生が1年生であるのに対して、CU の学生は日本語専攻の3~4年生で留学帰りの学生もあり、タンデム学習中に日本語を使う割合が高くなってしまい、言語学習という点では双方の学習言語のレベルがより近い方が望ましいが、相互の文化理解という点では有意義な内容であった。

タイ語講座 (全8回)

アンケート結果が全員ポジティブ回答であった通り、総じて学生の満足度は高い結果となった。強制的にタイ語を使わざるを得ない環境に身を置くことで、従来とは異なる緊張感の中で意欲的に学習に臨むことができたものと捉えている。途中や最後に全体テストも設定されていたため、目的意識を持って学習に臨んでいた。

## 総評

アンケートの中にある「今回の経験を通して、あなたのタイ語/タイ研究に関する学習意欲やタイへの興味・関心は高まりましたか?」という質問に対しては、全員がポジティブ評価という結果も出ており、参加した学生にとって大きなプラスな影響があったものと捉えている。但し、プログラム全体としては、スケジュールについては再考する必要があると思われる。平日は授業が1日6時間(1コマ3時間x2コマ)、週末は研修旅行と全体としてオフ/自由時間が従来に比べても少なかった。多くの参加者に疲れが見られたが、「これまでにない程、集中してタイ語の学習に臨めたため、短期間でタイ語が上達したと感じた」という声も聞かれた。